Copyright © 2016 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 改訂情報
- はじめに
  - 本書の目的
  - 前提条件
  - サポート対象のPDFファイル
  - 対象読者
  - 用語解説
- インストール前に
  - 全体のインストール作業の流れ
  - ■<構成(1)> 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合
  - ■<構成(2)> APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合
  - インストール前に必要な確認事項
  - 注意事項
  - 運用マシン構成
- インストール・環境設定
  - ■<構成(1)> 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合
    - タイムスタンプライブラリの配置
    - プロジェクトの作成とモジュールの選択
  - ■<構成(2)> APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合
    - タイムスタンプ処理サーバ での作業
    - intra-mart Accel Platform サーバでの作業
- アンインストール
  - ■<構成(1)> 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする構成の場合
    - 作業前に...
    - IM-PDFTimeStamper for Accel Platform の削除
    - 環境変数の削除
  - ■<構成(2)> APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する構成の場合
    - intra-mart Accel Platform サーバでの作業
    - タイムスタンプ処理サーバ での作業

改訂情報

変更年月日	変更内容
2016-08-01	初版
2016-12-01	第2版 下記に対応しました。 ▪ 「 *プロジェクトの作成とモジュールの選択* 」にIM-Juggling経由でのインストール方法を追加しました。 ▪ intra-mart Accel Platform 2016 Winter に対応しました。
2017-04-01	第3版 下記に対応しました。 ▪ 「インストール前に」に注意事項を追記しました。
2018-08-01	第4版 下記に対応しました。 ▪ 「はじめに：サポート対象のPDFファイル」で「**サポートするPDFファイルの範囲.pdf**」の文書プロパティをクリアしました。
2018-12-01	第5版 下記に対応しました。 ▪ 表記のゆれを訂正しました。
2019-04-01	第6版 下記に対応しました。 ▪ インストール時における「 ■*＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合*」で ysspdf.jar ⇒ pdftstamp-1.0.7.jar に変更しました。 ▪ インストール時における「 *タイムスタンプ処理サーバ での作業*」で ysspdf.jar ⇒ pdftstamp-1.0.7.jar に変更しました。 ▪ アンインストール時における「 ■*＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする構成の場合*」で ysspdf.jar ⇒ pdftstamp-1.0.7.jar に変更しました。 ▪ アンインストール時における「 *タイムスタンプ処理サーバ での作業*」で ysspdf.jar ⇒ pdftstamp-1.0.7.jar に変更しました。

はじめに

目次

- 本書の目的
- 前提条件
- サポート対象のPDFファイル
- 対象読者
- 用語解説

本書の目的

本書では IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のセットアップ手順について説明します。

前提条件

以下のドキュメントに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。

- 「IM-PDFTimeStamper for Accel Platformリリースノート」

サポート対象のPDFファイル

事前にご評価頂ければ、一般的なPDFファイルはほとんど問題がないことはご理解頂けると思いますが、安定した運用を考えますとPDFファイルを生成するソフトを制限することをお勧めします。以下は当社がバージョンアップ等を常にウォッチして動作確認をしているPDFファイルの範囲です。ご確認をお願い致します。
下記以外のPDFファイルでも、別途有償にてサポート可能な場合があります。個別に営業までご相談ください。

- **サポートするPDFファイルの範囲.pdf**

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のセットアップを行われる方

用語解説

- Resin をインストールしたディレクトリを %RESIN_HOME% と略します。
- Apache HTTP Server をインストールしたディレクトリを %APACHE_HOME% と略します。

- Storage として使用するディレクトリを %PUBLIC_STORAGE_PATH% と略します。
- Webサーバ利用時の静的コンテンツを配置するディレクトリを %WEB_PATH% と略します。
- Tomcatをインストールしたディレクトリを %CATALINA_HOME% と略します。

インストール前に

目次

- 全体のインストール作業の流れ
- ■<構成(1)> 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合
- ■<構成(2)> APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合
- インストール前に必要な確認事項
- 注意事項
- 運用マシン構成

全体のインストール作業の流れ

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform は、2パターンの構成が可能です。

<構成(1)>
各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする構成

<構成(2)>
APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する構成

各構成は、以下の手順でインストール作業を進めます。

■<構成(1)> 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合

- intra-mart Accel Platform サーバでのインストール作業
  1. タイムスタンプライブリ(jarファイル)の配置
  2. 環境変数の設定
  3. warファイルのデプロイ
  4. テナント環境のセットアップ

■<構成(2)> APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合

- タイムスタンプ処理サーバ でのインストール作業

  1. タイムスタンプライブリ(jarファイル)の配置
  2. 環境変数の設定
  3. JDKのインストール
  4. Tomcatのインストール
  5. warファイルのデプロイ
  6. Tomcatの設定・起動

- intra-mart Accel Platform サーバでのインストール作業

  1. モジュールの配置
  2. warファイルのデプロイ
  3. テナント環境のセットアップ

付属のサンプルプログラムが正常に動作することを確認し、インストール作業は完了です。

インストール前に必要な確認事項

インストール前に、必ず以下を設定・確認してください。

- OSの最新のパッチを適用してください。
- 必ずインストールするマシン自体にアドミニストレータ権限のあるユーザでログインしてください。ネットワークのアドミニストレータ権限があっても、そのマシン自体にその権限がないことも考えられます。
- Tomcatのポート番号は Resinサーバ のポート番号と衝突しないようにしてください。
  Tomcatのポート番号は %CATALINA_HOME%/conf/server.xml にて設定できます。

【重要】
セイコー社のタイムスタンプサーバ（インターネット上）にアクセスする際に、 プロキシ経由の場合ではそのままではタイムスタンプを付与できません。

<手法1 プロキシサーバを経由しない>
プロキシサーバを経由しないようにして、セイコー社のタイムスタンプサーバにアクセスしてください。

<手法2 プロキシの設定を変更する>
スタンドアロン環境、且つ実行環境のネットワークがプロキシサーバを経由している場合：
以下の設定をしてください。

- Resinの設定ファイルからプロキシサーバのホスト名、IPアドレスを指定

```
[<RESIN_HOME>\conf\resin.xml]の「<resin xmlns="http://caucho.com/ns/resin" ～」の下に以下の記述を追加
    <system-property https.proxyHost="<プロキシのURL>"/>
    <system-property https.proxyPort="<プロキシのポート>"/>
```

実行環境のネットワークがプロキシサーバを経由している場合：
以下の設定をしてください。

- Tomcatのプロパティファイルからプロキシサーバのホスト名、IPアドレスを指定

```
[<TOMCAT_HOME>\conf\catalina.properties]に以下の記述を追加
   https.proxyHost=<プロキシのURL>
   https.proxyPort=<プロキシのポート>
```

注意事項

以下を事前にご確認ください。

- ウイルスソフトによっては、ウイルスチェック時にファイルを掴むものがあります。PDF処理に影響がでる場合は、作業フォルダをウイルスチェックの対象から外す必要があります。
- ■＜構成(2)＞ APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合は、各サーバのJDKバージョンは一致させてください。異なるJDKのバージョンが混在した環境はサポート対象外です。
- タイムスタンプ処理サーバ は、単独で動作可能であり、 intra-mart Accel Platform がインストールされている必要はありません。
- タイムスタンプ処理サーバ は、複数台用意して分散環境として使用可能です。この場合、その数分の IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のご購入が必要です。

運用マシン構成

以下に、マシン構成例を示します。

- マシン構成例 (1) - スタンドアロン環境
  intra-mart Accel Platform サーバ（Windows）1台で運用するケースです。
- マシン構成例 (2) - 分散環境
  intra-mart Accel Platform サーバ（Windows）1台と、 タイムスタンプ処理サーバ 1台で運用するケースです。
- マシン構成例 (3) - 分散環境
  intra-mart Accel Platform サーバ（Linux）1台と、 タイムスタンプ処理サーバ 1台で運用するケースです。
- マシン構成例 (4) - 分散環境
  intra-mart Accel Platform サーバ（Linux）1台と、 タイムスタンプ処理サーバ 2台で運用するケースです。

インストール・環境設定

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のセットアップに必要な以下のインストールおよび設定を行います。

■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする場合

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。

目次

- タイムスタンプライブラリの配置
- プロジェクトの作成とモジュールの選択

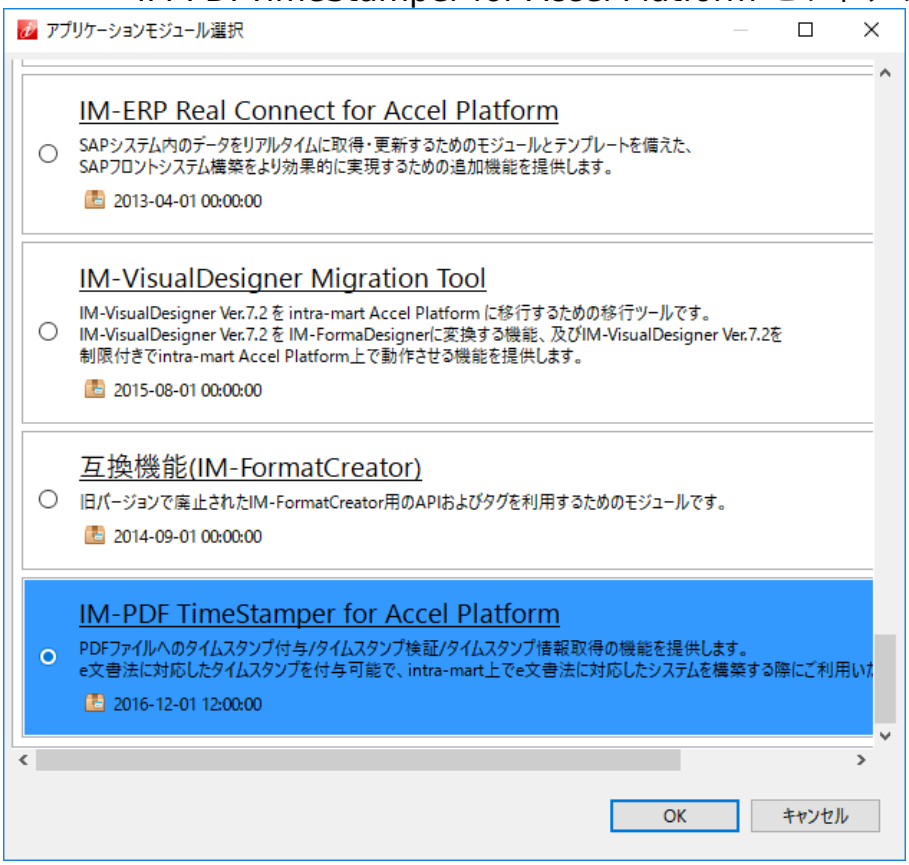
タイムスタンプライブラリの配置

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. intra-mart Accel Platform サーバの共通libフォルダ（%RESIN_HOME%/libが一般的）にタイムスタンプライブラリ（TimeStampClient.jar、pdftstamp-1.0.7.jar) ファイルを配置します。
   各jar ファイルは、CD-ROMの imart フォルダにあります。

場所	ファイル名
%RESIN_HOME%/lib	TimeStampClient.jar, pdftstamp-1.0.7.jar

プロジェクトの作成とモジュールの選択

1. 「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」にしたがって、プロジェクトを用意します。
   プロジェクトの作業手順の詳細については、「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」を参照ください。
2. IM-Juggling で利用するアプリケーションを選択する際に、「 IM-PDFTimeStamper for Accel Platform 」を指定します。
3. WARファイルを生成しデプロイします。
   WARファイルの生成及びデプロイの手順ついては、「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」を参照してください。



注意

既に IM-PDFTimeStamper for Accel Platform を導入中で、IM-PDFTimeStamper for Accel Platform 8.0.6 以降にバージョンアップする場合には、IM-Juggling の ユーザモジュールから IM-PDFCoordinator for Accel Platform を削除してください。

コラム

アプリケーションは後で追加することもできます。追加する方法は、「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」-「アプリケーションの追加」を参照してください。

■＜構成(2)＞ APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する場合

セットアップガイドをご説明します。

タイムスタンプ処理サーバ での作業

タイムスタンプ処理サーバ での作業内容を説明します。
タイムスタンプ処理サーバ を複数台 用意する場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- タイムスタンプライブラリの配置
- 環境変数の設定
- JDKのインストール
- Tomcat のインストール
- warファイルのデプロイ
- Tomcat の起動

タイムスタンプライブラリの配置

1. タイムスタンプライブラリ（TimeStampClient.jar、pdftstamp-1.0.7.jar)を任意のパスに配置します。
   各jar ファイルは、CD-ROMの imart/client フォルダにあります。

環境変数の設定

1. タイムスタンプ処理サーバ に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. 以下の環境変数を設定します。
   通常、システム環境変数に設定いただければ問題ありません。

環境変数名	設定内容
CLASSPATH	% タイムスタンプライブラリの配置フォルダ%

JDKのインストール

1. タイムスタンプ処理サーバ に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
   以下は参考としてJDK.Ver.7.x の前提で記述しています。基本は intra-mart Accel Platform で使用するJDKのバージョンと合わせてください。
2. JDKをダウンロードします。JDKのインストーラは、オラクル社のサイトからダウンロードできます。
   http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html （2016年4月 現在）
3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。インストールに関する詳細は、オラクル社のサイトを参照してください。
4. インストール完了後に、コマンドラインに以下を入力しリターンキーを押します。

```
> java　－version
```

5. コマンドラインにJavaのバージョン情報が表示されたら、インストールは成功です。

Tomcat のインストール

1. タイムスタンプ処理サーバ に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
   以下は参考としてTomcat.Ver.7.x の前提で記述しています。

2. Tomcatのインストーラをダウンロードします。
   http://tomcat.apache.org/ （2016年4月 現在）

3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。
   インストールに関する詳細は、該当ドキュメントを参照してください。

4. 各サーバの環境に合わせて、Tomcatを適宜 設定してください。
   CLASSPATHを下記のとおりに設定してください。
   - サービス起動の場合
     {Tomcatのインストールパス}bintomcat7w.exeを実行

設定箇所	設定内容
[Java]タブのClasspath欄	%CLASSPATH%

   - バッチ起動の場合
     {Tomcatのインストールパス}bincatalina.batを開きCLASSPATHを修正して保存する

設定箇所	設定内容
CLASSPATH	%CLASSPATH%

5. Tomcatのポート番号は Resinサーバ のポート番号と衝突しないようにしてください。
   Tomcatのポート番号は %CATALINA_HOME%/conf/server.xml にて設定できます。

コラム
Tomcatは、Ver.7.x / 8.x で検証しています。 他のアプリケーションサーバ上で稼動させる場合は、個別に営業までご相談ください。

warファイルのデプロイ

1. CD-ROMの　imart/server　フォルダを開き、pdftimestamp.war ファイルを、TomcatのWEBアプリケーション配置ディレクトリにコピーします。
   通常は %CATALINA_HOME%/webapps です。

コラム

複数台の タイムスタンプ処理サーバ を用意している場合は、すべての タイムスタンプ処理サーバ に対して実施してください。 Tomcat 7.x / 8.x にて検証しています。左記以外の環境で稼働する場合は、個別に営業までお問い合わせください。

注意

warファイルのデプロイ時には、WEBアプリケーションサーバ（Tomcat等）を停止してください。

Tomcat の起動

1. Tomcatを起動してください。

コラム

Tomcat起動中のログに異常（Exceptionなど...）がないことを確認ください。 管理者権限（Administrator）のあるユーザでの起動が必須です。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。
intra-mart Accel Platform サーバを複数台 用意する場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- 必要な作業

必要な作業

以下の作業を実施してください。

1. 「 *プロジェクトの作成とモジュールの選択* 」

アンインストール

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform のアンインストールに必要な以下の作業を行います。

■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をインストールする構成の場合

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。
intra-mart Accel Platform を複数台 ある場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- 作業前に...
- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform の削除
- 環境変数の削除

作業前に...

Resinが停止されている必要があります。

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform の削除

1. IM-Jugglingの「アプリケーション」タブで、「 IM-PDFTimeStamper for Accel Platform 」のチェックマークを外して、warファイルを作成します。
2. 作成したwarファイルを、Resinでデプロイします。

コラム
手順の詳細は、「 intra-mart Accel Platform セットアップガイド 」-「 intra-mart Accel Platform 構成ファイルの作成 」および、「 intra-mart Accel Platform の起動・停止 」を参照してください。

環境変数の削除

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. 以下の環境変数を削除します。

環境変数名	設定内容
CLASSPATH	%タイムスタンプライブラリの配置フォルダ%

3. 以下のファイルを削除します。

場所	ファイル名
%タイムスタンプライブラリの配置フォルダ	TimeStampClient.jar、pdftstamp-1.0.7.jar

コラム
複数台の intra-mart Accel Platform を利用している場合は、すべての intra-mart Accel Platform に対して実施してください。

注意
上記作業前に、Resinを停止してください。

■＜構成(2)＞ APサーバとは別に タイムスタンプ処理サーバ を用意し、APサーバが タイムスタンプ処理サーバ を共有して利用する構成の場合

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform をアンインストールします。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。
intra-mart Accel Platform サーバが複数台 ある場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- 必要な作業

必要な作業

以下の、作業を実施してください。

1. 「 *作業前に...* 」
2. 「 *IM-PDFTimeStamper for Accel Platform の削除* 」
3. 「 *環境変数の削除* 」

タイムスタンプ処理サーバ での作業

タイムスタンプ処理サーバ での作業内容を説明します。
タイムスタンプ処理サーバ が複数台ある場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- 作業前に...
- warファイルのアンデプロイ
- Tomcat のアンインストール
- JDKのアンインストール
- 環境変数の削除

作業前に...

Tomcatは停止してください。

warファイルのアンデプロイ

1. 「 pdftimestamp.war 」 ファイルと「 pdftimestamp 」というフォルダを、Tomcat のWEB アプリケーション配置ディレクトリから削除します。
   通常は %CATALINA_HOME%/webapps です。

> **コラム**
> 複数台の タイムスタンプ処理サーバ を使用している場合は、すべての タイムスタンプ処理サーバ に対して実施してください。

> **コラム**
> Tomcat 7.x / 8.x にて検証しています。

Tomcat のアンインストール

1. 以下は参考としてTomcat.Ver.7.x の前提で記述しています。
2. タイムスタンプ処理サーバ に、管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
3. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、Tomcatをアンインストールします。
   インストーラではなく、フォルダを解凍する方法でインストールしている場合は、該当フォルダを削除してください。

> **コラム**
> Tomcatは、Ver.7.x / 8.x で検証しています。

JDKのアンインストール

1. タイムスタンプ処理サーバ に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、JDKをアンインストールします。

環境変数の削除

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. 以下の環境変数を削除します。

環境変数名	設定内容
PATH	%タイムスタンプライブラリの配置フォルダ%

3. 以下のファイルを削除します。

場所	ファイル名
%タイムスタンプライブラリの配置フォルダ	TimeStampClient.jar、pdftstamp-1.0.7.jar

コラム

複数台の intra-mart Accel Platform を利用している場合は、すべての intra-mart Accel Platform に対して実施してください。